

小学校4年～6年（選択） こちよい人間関係

自分も相手もこちよく 「トラブルにならないあやまり方」

1 ねらい

相手が不快に思うことをしてしまったときには素直に謝ることで、良好な人間関係を築く。

2 本時で目指す児童の姿

- (1) 相手の気持ちを想像して、謝罪しなければいけない場面を理解している。
- (2) 相手に伝わる謝罪の仕方のポイントをおさえて、実践している。

3 準備

- (1) 使用するシート

ア 「あいて」ワークシート【p. 207】

イ 振り返りシート【p. 230】

- (2) その他

2～4人グループをつくる。(学級の実態に応じて)

4 展開

学習活動	留意点
<p>1 「こちよい人間関係」について確認する。 【2分間】</p> <p>2 本時のねらいを理解する。【5分間】</p> <p>○どんなときに、人に謝るか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束に遅れてしまったとき ・相手にぶつかっちゃったとき。 <p>3 喧嘩につながってしまったシナリオを見る。【8分間】</p> <p>○下記のシナリオを黒板に板書し、提示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>* Bが通りかかったときに、Aの筆箱が落ちてしまった。 B：(何も言わず通り過ぎようとする。) A：・・・ねえ、筆箱が落ちたじゃないか。 B：ぼくのせいじゃない。勝手に落ちたんじゃないの。 A：おまえが通ったときに落ちたから、おまえが落としたんだよ。</p> </div> <p>○2人が喧嘩になった理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bがすぐに謝らなかった。 	<p>○児童の今までの経験を聞き出し、誰しもが謝る経験をしていることをおさえる。</p> <p>○板書したシナリオを読み上げ、喧嘩になってしまったことおさえる。</p> <p>○わざとではないこと、わざとではなくても謝ると</p>

<p>○どうすれば喧嘩にならなかったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bが謝った方が良かった。わざとじゃなくても謝った方がいい。 	<p>トラブルにならないことがあることに気付かせる。</p>
<p>どのように伝えれば、トラブルにならなかっただろう。</p>	
<p>○トラブルにならないように謝るポイントを考える。</p> <p>【トラブルにならないポイント】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① すぐに謝る・・・ごめんね。</p> <p>② 状況を説明する・・・もしかしたら筆箱に当たってしまったかもしれない。</p> <p>③ 表情・・・状況に合った表情をする。申し訳なさそうに。</p> <p>④ その他・・・しぐさや身体の向き、相手との距離等から、謝罪の気持ちが表れる。</p> </div> <p>4 実際の場面でトラブルにならない伝え方を考える。【10 分間】</p> <p>○ワークシートの例の中から選び、「トラブルにならない伝え方」を考える。</p> <p>5 伝え合う。【15 分間】</p> <p>○グループで、選んだ場面について、「トラブルにならない伝え方」を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言い方も大切だね。 ・相手を気遣う一言があってもいいね。 <p>○全体で伝え合う。</p> <p>6 振り返りをする。【5 分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに謝ることが大切だと思った。 ・言い方も大事で、強い口調だと嫌な気持ちになる。申し訳なさそうに言ってくれと、怒る気持ちがなくなる。 <p>○振り返りシートに今の気持ちを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わざとじゃなくても、謝ることでトラブルにならないことが分かった。 	<p>○それぞれのポイントごと、板書で可視化する。</p> <p>○非言語（表情やしぐさ等）からも、相手への印象に大きく影響を与えていることをおさえる。</p> <p>○考えられそうな事例から考える。時間のある児童は、他の事例についても考えるように声掛けする。</p> <p>○実際の場面を想定して、場所を移動したり、声の調子、ジェスチャー等を交えて伝えたりするように声を掛ける。</p> <p>◇（ねらいにせまった姿） トラブルにならないように、すぐに申し訳なさそうに謝ったり、状況を説明したりしている。</p> <p>○児童の振り返りをもとに、日頃から取り組んでいくことを意識させるようにする。</p>

小学校4年～6年(選択) こちよい人間関係 自分も相手もこちよく「トラブルにならないあやり方」

年 組 番 名 前

■ 相手のことを考えよう。①～④でグループで選んだものから、考えよう。

① 友達の家へ行く途中、道を工事して遠回りしなければいけなかったため、約束の時間に遅れてしまったとき。

【うまく伝えられなかった時に考えられるトラブル】

【トラブルにならない伝え方】

② 映画館で自分の席に行くためには、座っている人の前を通らなければいけないとき。

【うまく伝えられなかった時に考えられるトラブル】

【トラブルにならない伝え方】

③ 給食当番で最後まで配っていたら、着替えが遅くなり、みんなを待たせてしまったとき。

【うまく伝えられなかった時に考えられるトラブル】

【トラブルにならない伝え方】

④ 昼休みが終わり、5 時間目の授業に向かおうとすると、運動場にボールが落ちているのに気づき、ボールを持ち主の学級まで届けた。そのため、5 時間目の授業に遅れてしまったとき。

【うまく伝えられなかった時に考えられるトラブル】

【トラブルにならない伝え方】

振り返りシート【プログラム： 】

年 組 番 名前

1 自分のこととして取り組みましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

2 自分や友達のことを大切にしましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

3 この授業で大切にしたいことやこれからの生活に役立てたいことなどを書いてください。